

## 第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート（案）

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」		
	(2)参加・体験活動の推進		
	基本施策5_文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」		
	(1)魅力ある資源の活用		
事業名	CCMAコレクション いま/むかし うらがわ		
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市教育振興財団	
市との関わり	主催		
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 221-2411 (内) 95-2523

## 【評価指標】

<b>1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）</b>
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
<b>2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、こども・若者、領域の広がり）</b>
(市民主体、領域の広がり) 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等 (こども・若者) 今回の展覧会の来館者総数に占める若年層の割合を計るだけでなく、今回の展覧会を契機にして、若年層に浮世絵や現代美術などに興味を持ってもらい、今後開催される展覧会への来館へとつなげるという視点が必要と考える。
<b>3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）</b>
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
<b>4 市民との関わり（満足度、周知度）</b>
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
<b>5 効果（地域活性化、費用対効果）</b>
(地域活性化) この事業をきっかけに若年層が美術館に親しみをもち、リピーターになっていただけることは地域の活性化という点で効果があると思う。予算面や人材面での課題もあると思うが、この事業を単発的ではなく、継続的に年に数回実施してもらえると良い。 (費用対効果) 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等

## 【提言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A：継続	<input type="checkbox"/> B：改善	<input type="checkbox"/> C：見直し
※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載			
・市の中心市街地が急速に空洞化している中で、市美術館が普段美術館に来られない若年層をターゲットとした様々な教育プログラムを実施することで、来館者総数に占める若年層の割合に変化が見られることは非常に評価できることで、今後も継続的に取り組んでほしい。 ・予算面や人材面での課題もあると思うが、この事業を単発的ではなく、継続的に年に数回実施してもらえると良い。			